

「まちづくりに求められる市役所新庁舎を考える」  
市民シンポジウムにおける意見票集計結果について

提出者数：69人 162件

※いただいたご意見については、内容により下記のとおり分類したうえで、集計しました。

集計結果

1 コスト・財源等

1. 新庁舎の総事業費約110億9千万円と報道されているが、財源はどのように考えているのか。市民債の発行による市民の協力を是非募ってはどうかと考えている。
2. 財源の確保は大丈夫なのか。
3. 財源について、もっと議論すべきである。
4. 本日は経済・財政面の検討がされていないが、今後大きな検討内容となることが考えられる。
5. 建設コストがある程度上昇するが、将来を考えた見方をしてほしい。
6. 理想的な庁舎を建てるには多くのコストが掛かる。
7. 建設事業費削減の為に、（国との基本合意を受けて）着手時期を含む工期や工法の見直しをして、事業の適正化を図りトータルなコストマネジメントに努めて、将来にわたる市民の財政負担軽減を重要視して欲しいこと。
8. 将来の人口減少が避けられない状況下で、財政的配慮を重視するならば、いかに合理的でシンプルで無駄のないローコストなつくり方をしていくのかを検討すねことが第一義である。あらゆる願望、要素があるなかで何にポイントをおくのが大切だが、自然エネルギーの活用などを工夫し、地球環境に配慮するという点は、庁舎建設において何をどうするのか。維持管理費がどれだけかかるのかを十分考えているのか大いに疑問。
9. 自分たちが家を建てる時もそうだが、建てる時は金銭感覚がマヒしがちである。建てる時に欲張りすぎて、後は借金が残し、その後壊れても結局付加的な機能は直さずにするということにならないようにしてほしい。
10. 前回より建替えるにあたっての金額が数十億あがっている様子だが、そこをどうやって安定させていくのが問題である。始めからお金が足りていない上、その3倍程が概算費用となっているので建設するのは大変難しいのではないかと。また、オリンピックの影響で材料費が高くなっていることも踏まえて建替えを検討すべき。
11. 仮設の市庁舎を建てる時、どれだけ費用がかかるか分かっているのか。
12. 建設費財源との関連で、貸店舗

## 2 建設時期（早期建替えを希望）

1. まちづくりの機能を考えることも大事だが、熊本地震のこともあるので、それが理由で建替えが遅れないように、基本的機能を優先して早く建替えを進めてほしい。
2. 熊本での地震のことを考えると早く建替えたほうが良い。
3. 防災対策拠点でもある市庁舎の建設は早急に実施すべきと考える。
4. 宇部市のシンボルとなるように市役所の建替えを早急にしてもらいたい。
5. 市政 100 周年記念事業として建設するのではなく、もっと早期に建設すべきである。
6. スピードを上げて建設を続けてほしい。

## 3 建設時期（時期の見極めが必要）

1. 今回の熊本地震により、市の基本構想の見直しをされるのか。・・・「建設時期の見直し」
2. 建設時期は、100 周年にこだわらず、オリンピック、東北復興、熊本地震の費用高騰時期ははずすこと。
3. これからオリンピックが東京で開催されるため、業者（技術者）は東京へ向かってしまうとすると良い庁舎を早く建てるのは非常に難しいように思うので、もう少し時間をかけて検討しても良いのではないか。

## 4 性能・機能（全般）

1. 空間的有効利用の為に工夫をするためには一階ごとの層の構造を考える必要がある。
2. 現庁舎は老朽化しており建替えは当然である（ハードとソフト面は合わせて議論すればよいと思う）。
3. 防災拠点及び行政機能があれば十分である。
4. 新市庁舎は機能が果たせれば十分である。
5. あまり機能を欲張りすぎないように、他の施設でカバーできるものはそちらで行うようにしてほしい。
6. これがあればよいというような機能については他施設を活用すればよい。
7. プラスαの機能を求めるべきである。

## 5 性能（環境性・快適性・利便性）

1. 壁面の発電は高コストなので止める。
2. 建物の中心に吹抜けや緑の空間が必要である。
3. 暗いイメージより、明るく市民が気軽に入れる市役所にしてほしい。
4. 明るく親しみやすい、市民に開かれた庁舎にしていきたい。
5. 市役所のバリアフリー化を進めていただきたい。

6. 庁舎内のバリアフリー対策を十二分に考慮し、床面の段差やエレベーター等に配慮してほしい。また、各施設に休憩出来る椅子等を設置してほしい。
7. 建築基準等の許す範囲で階段を出来るだけゆるやかに広くとっていただきたい。
8. 扉開閉の際、衣服や体が便器に触れないよう、標準的なトイレに加え、1.5倍程度広いトイレを望む。また、多目的トイレを、今イメージされている数よりも増やしていただきたい。
9. 現庁舎はトイレや水回りが汚い。
10. 庁舎は、市職員の働く場なので、働きやすい空間づくり。
11. 来庁者や職員の喫煙者に配慮したスペースの確保。納税者にたいしての配慮が足りない。
12. 駐車場は、できるかぎり屋内駐車場としてほしい。
13. 駐車場の場所、収容台数、料金、障害者用等の構想は。
14. 複数の乳幼児を連れて、雨の日にマイカーで市役所を訪れる場合、必要なアメニティーは、どんなことが考えられるでしょうか。
15. 地下駐車場を設置する。
16. 東側の市道を拡幅し、駐車場への車の出入りの利便性、安全性の向上を望みます。
17. 市バス利用率向上とも関連し、駐車場への市バス乗り入れを実現され、庁舎出入口至近位置への停車が可能となれば

## 6 窓口機能

1. 窓口機能は、子供、市民相談の多様性、プライバシー、明るい窓口づくりに対応する。バリアフリー化も必要
2. 入口付近や階段横等に大きなマップを設け、どこに何があるのかがわかりやすくすることが大事。
3. 窓口業務については、動線や受付はJR地下鉄・銀行・サービス業などの道案内等を参考に取り入れられたら良いと思う。
4. ガス・上下水道局関係の相談で庁舎に来庁される人も多いが、インターネット等を利用した窓口設置等は可能か。
5. 総合窓口を設置する場合、1階部署の組織改変は。
6. 市民アンケートの来庁目的（複数回答）について、戸籍・住民票等のことが70%、保険・年金・税金・福祉等が20%との結果を受け、市役所の機能が変わってくる事を予測しないといけない。（各センターで対応可能）
7. 自分が訪問した居場所が、すぐにわかるように、窓口でボタンを押せば画面やボイスで案内してもらえるような設備を設置してほしい。
8. 来庁者と各課とが話のできる内線電話を設置してほしい。現在の1階にあるような部署は来庁して直接窓口に行けば済むが、2階・3階・4階にあるような部署を訪問するとき、“今市役所に着きました。今からお伺いします”というように直前のコミュニケーションがとれればよい。

## 7 市民活動支援機能

1. 多目的ホールは時間外利用ができるようにする。
2. 災害時は、学校のグラウンドや体育館等があるので、万一の災害時の為に多目的ホールをつくるのはもったいないと思う。多目的ホールは、別の公共施設にあるので不要。
3. 多目的ホールは市庁舎に入れる必要があるか。ニーズがあるのか。
4. 基本構想にかかるものかもしれませんが、「宇部の歴史遺産的な展示・顕彰施設を併設して欲しいこと。」  
※ル・コルビジエの世界遺産登録の件でも分かるように、特徴あるデザインの建物自体が視察等で人を呼ぶことは明らかであるが、内容・機能も大事で、宇部出身者だけでなく、宇部のまちづくりに貢献された方も含めて歴史上の人物を顕彰する施設・コーナーも欲しいこと。
5. パブリックコメントなど、市民意見を募る場合、専用のコーナー（提言書を設置する場所及び記載台、筆記用具、記載用紙等の設置）を設けてほしい。ネットを利用しない方や、市役所を訪れた方が、専用のコーナーがあることで、パブリックコメントを実施していることが分かり、その場で記載できるので、有効である。
6. 市民交流の場として、小さな子供から大人まで誰もが絵の発表が出来るようなお絵かきコーナーがあったらよい。
7. 会議室を充実させ、夜間は市民へ貸し出し可能としてほしい。
8. 「市民の交流スペース」とは、長岡市のように、窓口利用者以外の人も使えるカフェ・ラウンジというイメージか。Google オフィスのように知的生産性の向上のため、打合せでも使えるなど職員も利用できた方がよい。
9. 市役所を24時間365日活動できる新庁舎にする。

## 8 まちづくり拠点機能

1. 市庁舎は、まちの中心にあるので、商店街などと一体化して協力し合うことが必要。まちを盛り上げていくように、まわりにつなげていくとよい。
2. 100年以上耐えられ、地域活性化の核である市庁舎にしてほしい。
3. 市民がまちに出た時に、ちょっと市役所に寄ってこよう、困ったから市役所に行こう、といえる様な市役所であってほしい。
4. 本庁舎が新しくなることで、周辺が盛り上がるような空間づくりとする。
5. 市庁舎、井筒屋、新天町を軸として、まちづくりを進めていったほうがよいと思う。まちなかに広場を設けて商店街と結びつくようにし、真締川公園も市庁舎の空間の一部として検討してはどうか。
6. 真締川公園と常盤通りと真締川と周りの建物を利用して総合的な市庁舎をつくり、誰でもちょっと行く憩いの場にしてほしい。

7. 新庁舎は真締川公園と一体的に計画するといわれているが、医大側の公園の整備が行き届いてなく、中途半端である。
8. 新庁舎は税金だけでなく、収益のある他業種を併用して、市民が集まりやすく、癒しの場所となるように、敷地を近隣の公園や河川と一体化して造るようにする。
9. 市役所と真締川公園の一体的整備は是非やってほしい。
10. まちづくり拠点機能として、彫刻の活用を図る。
11. まちづくりに寄与できる新庁舎の数十年後の観点について、人口が今の1/2になるようだが、多くの機能の付加や集約をすることで、移動距離が少なくて用事が済み、その後、周辺の商業施設で買い物を楽しむことができるようにすると、高齢者に利便性がよくなる。
12. 庁舎の建替のみでなく、近隣地域の活性化を含んだ全体像で進めていくことが重要で、市民と職員が一体的となる合体庁舎を求める。
13. 中心市街地らしく、しっかりした歴史に残るようなものにしてほしい。（贅沢でなくて良い）
14. 盛り沢山の要望・コンセプトにメリハリをつける。宇部らしさを発信できるものがよい。
15. 宇部市のシンボルとなるような市庁舎の建設を望む。
16. 是非新庁舎がシンボルとなる庁舎であってほしい。
17. 細部については“シンボル”となる様な建物にすることは宇部市では絶対に必要。また、開放的な庁舎にしたら良い。
18. まちのシンボル化ではなく、市庁舎を移した場所からまちを作るようにするべき。7つのコンセプトや6つの機能は新しく移した場所から作り上げるものである。
19. 宇部市の新庁舎による将来像の説明がないため、市民のための機能スペースを設ければ人通りが増えるとは思えない（宇部市は商業都市、工業都市のどちらを目指しているのか）。
20. 宇部のイメージアップにつながるようにしてほしい。
21. 市民交流やイベントなどは、現庁舎解体後の場所をイベント広場とすれば良い。（屋根付）
22. 売店は、現在のような売店より、テナントが出入りしやすいものが良いと思う。
23. 市民や誰でも使える食堂や喫茶スペースを設置してほしい。
24. ちょっとした休憩所などもあるとよい。
25. だれでも利用できる食堂経営を考えてほしい。
26. スターバックスを誘致する。
27. 道の駅を建設する。
28. 交通網の整備を。自家用車の利用を止めて、バス利用者を増やし、商店街の利用者増につないでほしい。
29. 市役所前をスクランブル交差点とする。
30. 動く歩道を設置する。
31. 屋根に歩道を設置する。（市役所～井筒屋 ヒストリア～レッドキャベツをつなぐ）



## 9 防災機能・安全性

1. 今回の熊本地震により、市の基本構想の見直しをされるのか。  
「7つのコンセプトのウエイトを見直し、市民の安全安心を支える庁舎のウエイトを高める。」
2. 防災、災害対策機能を十分に備えたものとしていただきたい。（指揮・通信・情報収集等）
3. 防災をもっと意識してほしい。
4. 災害に強い庁舎にしてもらいたい。
5. 災害時に司令塔となることは大事である。中心となる部分が崩れては連鎖的に周囲も崩れる。従って、楽しく明るくというコンセプトもよいが、防災についてしっかりと計画しておくことが必要である。
6. 防災の観点について、①熊本地震の規模を想定に防災拠点として考えているのか。②南海トラフの津波、水害を想定した場所なのか。そのデータを示してほしい。
7. 十分な駐車場を設け、防災機能の点からも、屋上にはヘリポートをつくる。
8. 免震は不要（すでに水平震度は5割増）
9. 町のシンボルとなる場所に、避難場所としても使える多目的ホールがあった方がよい。
10. 以下の懸案事項の整理が必要であると思う。  
満潮による1階浸水を想定した場合の再検討
11. 今回の計画地は、海拔が低いので防潮対策が防災上必要と思われる。
12. 現在地での建て替えですが、津波・地震等の際に標高及び埋立地という点が気になる。
13. 災害時はたとえ庁舎が安全でもそこに行くことができるのか。
14. 防災対応については、災害時の状況は最悪な場合やケースバイケースであることから、施設の整備内容とその使用方法について、マニュアル化、かつ、柔軟に対応できる様に備えておく必要がある。

## 10 執務機能

1. 気軽に立ち寄れる市役所になることは良いことだが、平日の時間外や休日には出入り可能、不可能をきちんと線引きし、防犯（重要文書の紛失等の防止）を強化することが必要になる。
2. あまりに書類が多いので、倉庫を充実させてほしい。
3. 行政執務の電算化の推進により市民サービスの向上を図るとともに、基本的な考え方を公開する必要がある。

## 11 議会機能

1. 議場は議会時しか利用せず、使用日数も限られているので、市民は広いスペースが必要なので、多目的ホールとして一緒に利用することで、スペースの削減と身近な議会になるのではないか。
2. 議会施設は運営方法を考えないと広げても意味がない。

## 12 規模の適正化

1. 人口減を見据えてコンパクトに。
2. コンパクト化を真面目に考えてほしい。
3. 多目的ホールや展示スペースは来庁者用駐車場が余分に必要になるため必要なく、規模等の再検討の余地がないので、職員スペースを最小にして、その分ホールに充てるようにしてほしい。
4. 行政の果たすべき役割をきちんと精査し、それに合わせた部課の設置、また職員配置が行われるべきと考えるが、これからの行政の役割を、庁内でどの程度、共通認識され、建て替え規模を算定されたのか。職員 666 人＋港町新庁舎というのは、どのように算定されたのか。
5. 市民活動交流センター機能、子育て機能などは、最小限にしないと総面積はどんどん大きくなる。
6. それぞれの所管による必要な施設・設備を設置することは、現在の計画（面積等）を大きく超えることになると思う。
7. 十分な床面積を確保するべきである。
8. 宇部市の人口動向はどう反映されたのか。また、少子高齢化には対してはどのように反映されているのか。

## 13 本庁舎と支所等の公共施設との役割分担

1. 教育委員会は新庁舎に入れるべきである。
2. ホール等のスペースを兼用・共用化等で有効活用し、削減することで港町庁舎も一緒にまとめた方がよい。港町庁舎を残したままだと、窓口の利便性が悪く、建物の維持管理コストもかかるのではないかと。
3. 何もかも機能が市庁舎に集中してよいのか。
4. 身体や心の不自由な人には、本庁舎よりも分散された所（センターや分庁舎等）を活用できる方向で考えてほしい。（事例：選挙投票が困難）
5. 本庁舎はできるだけコンパクトにして、支所の方へ費用をまわす考えはなかったのか。本庁舎が立派になっても、厚南はうれしくない。災害時どのように考えているのか、厚南地区へコンパクトシティの考えはなかったか。
6. 機能の集約について、本庁舎にできるだけ集約して、出先は引上げて、本庁舎に来ればワンストップで対応可能となる様にすべき。  
何でも市役所の考え方は疑問があります。ふれあいセンター等の利用で済むことも多い。
7. 「各役場との関係」の整理が必要であると思う。

## 14 建設場所

1. 市役所新庁舎建設場所は、琴芝小学校と神原小学校を合併して、琴芝小学校の場所が良いのではないかと思う。今や宇部市のメイン通りは旧参宮通りであり、高速道路にも直線で道路の便が良く、医療についても医大病院に近いので良い場所と思っている。
2. 二度引越しすることになりムダであること、また防災上も地盤の軟弱性や3. 5m津波にさらされることから、現庁舎位置に建て替えるべきではない。建設位置の検討項目に防災が入っていない。規模と機能を考えるなら現在地でないところがよい。
3. 今の場所を前提にしているが安全なのか。浸水・地盤・耐震性南海トラフ対策のデータを示してほしい。庁舎被災の可能性が大きいところへ建設するのは大問題となるので、市民の声を聞いてほしい。

## 15 配置計画

1. 新庁舎を高層にして、土地の有効活用を図る構想はあるか
2. 現駐車場側に建設することになれば、高層にならないようにしてほしい。
3. 現在の建設予定場所は本庁舎と北側駐車場と宇部税務署の3ヶ所を敷地とする説明を聞いたが、新庁舎は出来ても現代の車社会でこれから先はまだまだ車が増えるので駐車場スペースの問題が生じる。
4. 建設期間中の行政機能はどこで果されるのか。具体的な建設計画はあるのか。
5. 新庁舎を現在地に建てるということであれば、その間の役所業務は仮庁舎も必要と考えるが、その費用がいくらぐらいかかるのか。
6. 税務署跡地に議会棟等はどうか。

## 16 税務署との合築

1. 税務署との合築は合理的である。
2. 税務署との合築は悪い話ではない。
3. 仮設を建てないようにするのは税務署用地が必要である。
4. 税務署と合築することで、市にどのようなメリットがあるのか。  
ただ間借りするのみで、確定申告が市役所でも出来たり、税務署に手続きに来た人も市役所の窓口で手続き・相談が出来なければ、メリットがないと思う。
5. 宇部税務署との合築は考えない方がよいと思います。必要性がない。
6. この度の「国との基本合意」の具体的な内容を、すぐに「情報公開」して欲しいこと。  
公開された中身を、再度、皆なで議論、検討し合えるように、「市民委員会」及び「基本計画検討委員会」に提出して、本来の「市民とのキャッチボール」をして欲しいこと。  
※50年も過ぎた自分の家を建て替えるために、一年以上、家族会議を継続して各構成員のアイデアや希望を出し合ってきたが、突如、隣の家（税務署）と合併建築するという話になったら、みんなどう思うだろうか？自分の言ってきたことが無駄になったのではないか、果



たしてどのように生かされるのか、そんな疑念を抱くのではないだろうか？

もう一度、修正した新しい資料・データ等を見てから、改めて意見を出し直したい、と思うのが自然ではないだろうか？

## 17 広報（市民への周知等）

1. 「このプロジェクトに関する情報公開」を正確に行い、それを受けた「市民の声」を公平に、時間をかけて丁寧に聴き、それをプロジェクトにシッカリ反映して、「市民とのキャッチボール」に努めて欲しいこと。（「第6回基本計画検討委員会」議事録に同様の発言あり）  
※市のホームページの市議会の3月定例会の議事録は未だに掲載されていないが、すでに自治会を通じて配布されている直近（5月1日付）の「宇部市議会だより」では、3月定例会の代表質問で「市庁舎建設の現状と今後の取り組みについて」と取上げられたようだが、その質疑内容は他の項目とは違い、掲載されていないこと。
2. 市民アンケートを実施してほしい。場所や費用について早く市民の意見を公表し、重要なポイントをクリアできるものを作らないといけない。
3. 市民アンケートで市役所の建て替えについて「知っていた」と「知らなかった」がほぼ同数の40%ということから、今日みたいにどんどん市民との対話、情報発信をすることが大事。
4. 市民が参加できるような進め方をすることだが、本当に有意義な人材による実行委員会を立てるような取組みが必要であると思う。無駄に検討回数が増えないように。

## 18 その他

1. 最近の市庁舎の先行事例を参考にして、宇部市がこれから建設設計を進める上で、導入するものしないものを検討してはどうか。
2. 設計事務所のウデを発揮させる環境が大事。
3. コンセプトを実現するのは、建物ではなく使う側（職員、市民）なので、施策が大事である。
4. 重要なプロジェクトの基本計画検討委員長をされている内田先生にお願いしたいのは、内外の幅広い経験・知見を活かして、宇部市役所の業務を適正に指導して欲しいこと。
5. 何と言っても一番使用するのは、市の職員なので自信と確信を持って本日の意見交換会の登壇者の一人となり、意見を述べてほしい。別の見方、別の考え方が大変大事な時代になっているので、市民と職員合体の合同庁舎をつくってほしい。
6. 市民の意見は立場によって異なるので、庁舎建設について、市民ニーズを一番良く知っている行政の各課担当職員と建築の専門家で話し合って決めたらよいのではないか。
7. シンポジウムの一部で、市・議会・市民の3つの案が示されたが、今後これをどう一体化されるのか。
8. 理想と現実の差をどういう手法で解決するのか（公表するべき）。
9. 庁舎より優先して建設の必要がある施設を検討してほしい。

10. ゼロベースで検討するべきである。

11. 少子高齢化、人口減を踏まえて将来の市庁舎の役割は変化していくと思う。また、財政難の局面から単なる執務・窓口の情報効率・事務所タイプではなく新しいタイプを考えるべきなのに、新しい市庁舎像の本質的な協議がされていない。行政自治から住民自治をスローガンにしていればなおさらのことで、既成の市役所像から脱皮する必要がある。それにより新世代と町づくりの拠点となる可能性がでる。

12. 設計に移る前に構想を再考し、情報公開してプロポーザル時に全国的に計画案を問い直すべき。それにより、市民の関心も得て、多様な在り方で全国的にも情報発信できる市庁舎の方向性が分かる。

宇部市の施策をどのように全国的に発信するか契機になるのではないか。

13. 今回の熊本地震により、市の基本構想の見直しをされるのか。

「完成までの代替拠点（湖水ホール）の機能整備はされるのか。」

14. 以下の懸案事項の整理が必要であると思う。

「100件の歴史資料保管」

15. 情報処理の変化（多目的化、高速化、それらに伴う諸条件の変化）に対応できる機能を現時点で全て予測は不可能と思う。50年・60年という歳月は想定できない。重点項目のしぼり込みが必要ではなかろうか。絵・花的にという考えも解らないことはないが？

16. 現在の市中心部の現況について、商店街がシャッター通りとなっていることの回復は望めないが、今後、中心部を活性化するには郊外のゆめタウン宇部やフジグラン宇部への買い物客の分散を止めなければならないのではないか。